



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社海帆 上場取引所 東  
 コード番号 3133 URL <http://www.kaihan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久田 敏貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小島 聡 TEL 052-586-2666  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,462	7.7	△14	—	△16	—	△12	—
28年3月期第1四半期	1,357	—	△27	—	△22	—	△23	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △12百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△6.76	—
28年3月期第1四半期	△14.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	3,369	843	25.0	472.92
28年3月期	3,426	855	25.0	479.68

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 843百万円 28年3月期 855百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,316	17.5	53	△8.7	57	△7.5	25	△32.7	14.34
通期	6,945	17.3	165	18.0	172	11.2	64	10.6	36.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	1,783,200株	28年3月期	1,783,200株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	0株	28年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	1,783,200株	28年3月期1Q	1,708,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、失業率が低水準で推移し賃金は総じて緩やかな増加を続けているものの、米国の利上げ観測の後退や、欧州の政治的混乱によるリスク回避、中国や新興国向け輸出の鈍化等から円高・株安基調となり、個人消費が伸び悩む等内外需に力強さを欠き、景気は引き続き足踏み状態が続いております。

外食業界におきましては、全体として市場規模は維持しているものの、一部には客足の鈍化や客単価の減少も見受けられるようになり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、4月に「大須二丁目酒場 岩塚店」(名古屋市中村区)・「なつかし処昭和食堂 岐阜羽島店」(岐阜県羽島市)、5月に「Baby Face Planet's 羽島店」(岐阜県羽島市)、新業態となる「静岡パルコ 昭和ビアガーデン」(静岡市葵区)、6月に「なつかし処昭和食堂 常滑駅前店」(愛知県常滑市)を新規に出店し、さらに5月には「炭火焼き鳥六三 豊田西町店」(愛知県豊田市)を「焼き鳥串焼き 鳥はち」にてリニューアルオープンいたしました。この結果、平成28年6月末現在99店舗(前年同四半期末は82店舗)を運営いたしております。

なお、4月14日に発生した「平成28年(2016年)熊本地震」により休業していた熊本県の3店舗のうち、2店舗につきましては6月に営業を再開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,462百万円(前年同四半期比7.7%増)、営業損失14百万円(前年同四半期は営業損失27百万円)、経常損失16百万円(同経常損失22百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円)となりました。前年同四半期は6店舗の新規出店と2店舗のリニューアルをしていること等により営業損失となっておりましたが、当第1四半期連結累計期間においても前期並みの出店・リニューアルを行なっているため営業損失となりました。しかし、前期に比べその店舗数が減っていること、また、増収になっていることもあり、その損失額は少なくなっております。

(注) 当社グループは、飲食事業並びにこれに付帯する業務を営んでおりますが、飲食以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,369百万円(前連結会計年度末比56百万円減少)、負債は2,526百万円(同44百万円減少)、純資産は843百万円(同12百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ162百万円減少し1,586百万円となりました。これは、現金及び預金が新規出店の設備や経費の支払い、法人税・消費税の納税等により209百万円減少したこと等が主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し1,779百万円となりました。これは、新規出店やリニューアル等の設備投資によって有形固定資産が94百万円増加したこと等が主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し1,253百万円となりました。これは新店関連費用の発生等により未払金が43百万円増加したこと等が主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し1,272百万円となりました。これは長期借入金が92百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し843百万円となりました。これは利益剰余金が12百万円減少したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は25.0%(前連結会計年度末は25.0%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新規出店がほぼ計画通りに進んでいること、経費のコントロールが出来ていること等により、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

(※) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により上記予想と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1,882千円減少しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,564,169	1,354,543
売掛金	35,467	29,283
商品及び製品	49,379	51,486
原材料及び貯蔵品	5,802	4,506
前払費用	59,802	62,541
未収入金	18,131	68,688
繰延税金資産	8,328	8,339
その他	8,692	7,657
貸倒引当金	△267	△323
流動資産合計	1,749,506	1,586,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	827,999	890,942
機械装置及び運搬具(純額)	22,572	30,965
工具、器具及び備品(純額)	90,035	93,232
リース資産(純額)	370,113	390,432
その他(純額)	8,397	7,884
有形固定資産合計	1,319,118	1,413,457
無形固定資産		
商標権	2,242	2,309
ソフトウェア	1,760	1,439
その他	1,109	1,109
無形固定資産合計	5,113	4,857
投資その他の資産		
敷金及び保証金	281,816	291,890
繰延税金資産	23,763	23,764
その他	43,212	45,646
貸倒引当金	△253	△253
投資その他の資産合計	348,538	361,047
固定資産合計	1,672,769	1,779,362
繰延資産		
繰延資産	4,036	3,531
繰延資産合計	4,036	3,531
資産合計	3,426,312	3,369,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	289,564	296,229
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	370,596	370,596
未払金	302,846	346,075
リース債務	104,389	111,693
未払法人税等	6,456	248
前受金	53,973	34,848
賞与引当金	9,454	11,036
株主優待引当金	9,003	7,144
その他	60,843	61,951
流動負債合計	1,221,127	1,253,823
固定負債		
社債	51,000	51,000
長期借入金	956,002	863,353
リース債務	295,695	311,113
資産除去債務	29,202	29,302
その他	17,927	17,717
固定負債合計	1,349,827	1,272,485
負債合計	2,570,954	2,526,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	193,760	193,760
資本剰余金	180,760	180,760
利益剰余金	480,837	468,788
株主資本合計	855,357	843,308
純資産合計	855,357	843,308
負債純資産合計	3,426,312	3,369,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,357,931	1,462,327
売上原価	383,965	412,637
売上総利益	973,966	1,049,689
販売費及び一般管理費	1,001,899	1,064,072
営業損失(△)	△27,933	△14,382
営業外収益		
受取利息及び配当金	17	16
保険解約返戻金	8,410	—
受取手数料	1,036	654
不動産賃貸料	1,885	1,285
その他	879	660
営業外収益合計	12,230	2,617
営業外費用		
支払利息	3,500	2,670
その他	3,574	1,685
営業外費用合計	7,075	4,355
経常損失(△)	△22,779	△16,120
特別利益		
固定資産売却益	640	8,813
その他	110	—
特別利益合計	750	8,813
特別損失		
固定資産売却損	671	177
固定資産除却損	—	1,074
特別損失合計	671	1,251
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,700	△8,558
法人税等	1,237	3,490
四半期純損失(△)	△23,938	△12,049
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,938	△12,049



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△23,938	△12,049
四半期包括利益	△23,938	△12,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,938	△12,049

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業並びにこれに付帯する業務を営んでおりますが、飲食以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載は省略しております。